

【会場へのアクセス】

珠洲市立健民体育館 奥の公園（遊具のある芝生）
住所：〒927-1213 石川県珠洲市野々江町1 7-1
駐車場：健民体育館前
仮設トイレあり



【珠洲市までの交通】

・車で：金沢駅周辺～のと里山街道利用、のと里山空港ICで降りて珠洲市方面へ
（所要時間 約3時間半）

・飛行機で：のと里山空港から「ふるさとタクシー」利用
→前日17時までに電話予約必須、「健民体育館前まで」とお伝えください
乗り合いバスのため、所要時間は日によって異なります。

時間には余裕をもってご予約下さい。
予約先：バス交通（株）0768-63-1221
<https://www.noto-airport.jp/pages/turuboku.html>

・特急バス+徒歩

金沢駅西口～珠洲市内「すずなり館前」間で特急バスが運行中
時刻表、乗り場などは以下、北陸鉄道のHPを参照ください。
<http://www.hokutetsu.co.jp/artilines/517497ver1>

会場は、「すずなり館前」から徒歩15分ほどのところにあります。



【お問い合わせ】
koduehibino@gmail.com

【協力】
奥能登珠洲マッサープロジェクト

珠洲の皆さんぶらりと集まって！ 能登半島地震・珠洲応援 ダンスプロジェクト スズ × ひびのこづえ 2024.7/26,27,28

[PERFORMANCE]

RYU

× 藤村港平 × 小野龍一 × スズ

7/26（金）公開リハーサル 16:00-17:00

7/27（土）本番 16:00-

7/28（日）本番 11:00-

[ATTRACTION]

巨大クラゲを珠洲の空にあげる／Come and Go
× 小野龍一 × スズ

7/26（金）15:00-18:00

7/27（土）14:00-18:00

7/28（日）09:00-13:00

※パフォーマンス上演中はお休み

会場：野々江総合公園
珠洲市立健民体育館 奥の公園
（遊具のある芝生）

※「小雨決行」「事前予約不要」

山路を登りながら

能登半島地震・珠洲応援ダンスプロジェクト

スズ × ひびのこづえ

珠洲と私は2017年の第1回奥能登国際芸術祭に参加し、珠洲の美しい海に出会い、そこからインスパイアして数々のダンスパフォーマンスが生まれ、そして作品は珠洲から色んな場所へ広がって行きました。その珠洲に地震が起き、その光景を見た時、私に何が出来たのか。なにも出来ないけど、珠洲に笑顔を届けたいと決めました。

でも一人の力は小さいので、1回目の芸術祭に向けてデザインしたSUZUタオルハンカチ。そこには、珠洲の特徴を紹介し、ゴジラ岩や見附島が描かれています。私と同じ気持ちを持つ方に購入してもらい、小さいけど沢山の支援を頂き、第1回のダンスプロジェクトが実現します。

と言っても、とても少人数で準備して実行します。だから観るだけでなく、良かったらちょっと準備を手伝いながら、笑いながら、一緒に巨大クラゲも思いっきり上げましょう！



【販売協力】

河津観光協会
日本イベント企画株式会社
ギャラリー数寄
ほぼ日 TOBICHI 東京、京都
東京芸術劇場
ハクシオン株式会社
太宰府アートのたね
10TH DAY MARKET
株式会社ソルティー

SPECIAL THANKS：

SUZU タオルを買って下さったみなさま

【SUZU タオル】

能登半島を母ゴジラに見立ててデザインしたミニタオル。よく見ると、日本海、ゴジラ岩、禄剛埼灯台、見附島、能登空港も描かれています。

<https://minne.com/@hibinokodue>



[ATTRACTION PROGRAM]

巨大クラゲを珠洲の空にあげる／Come and Go
× 小野龍一 × スズ

珠洲の海をイメージし、寄せては返す潮の満ち引きや、出会いと別れ、移り変わりをテーマにしたダンスパフォーマンスの中で、珠洲の空を舞った巨大クラゲ。願いを込めて、皆さんでクラゲを「せーの」で空にはなとう。

7/26（金）15:00-18:00

7/27（土）14:00-18:00

7/28（日）09:00-13:00

* パフォーマンス上演中はお休み

[PERFORMANCE PROGRAM]

「RYU」

× 藤村港平 × 小野龍一 × スズ

その土地にある、いにしへの歴史、伝説、言い伝えをテーマに。パフォーマンスの中で、どんどん進化を遂げ、未来に向けた新たな「伝説」を生み出していく。ダイダラボッチから未来を翔ける龍の登場まで、不思議なフォルムの衣装と、ダイナミックな身体と、空間をタイムスリップする音が、時空を超えます。

7/26（金）公開リハーサル
16:00-17:00

7/27（土）本番 16:00-

7/28（日）本番 11:00-

無料

会場：野々江総合公園
珠洲市立健民体育館 奥の公園
（遊具のある芝生）
住所：〒927-1213 石川県珠洲市野々江町1 7-1

ひびのこづえ

静岡県生まれ 東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞、紀伊國屋演劇賞個人賞受賞ほか展覧会多数。1997年作家名を内藤こづえより改める。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当。歌舞伎「野田版研ぎ辰の討たれ」、「野田版様の森の満開の下」、現代劇の野田秀樹作・演出の「兎、波を走る」、「フェイスピア」、森山開次ダンス「サーカス」、「不思議の国のアリス」、「星の王子さま - サン＝テグジュペリからの手紙 -」など衣装担当。奥能登国際芸術祭、大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭に参加。

5月3日～6日東京芸術劇場にて「TACT FESTIVAL2024」開催、「二人のアリス」、「Rinne」、「アリとキリギリスと」、「TYM traveling your memory」上演。野田地図新作「正三角関係」7月～東京からロンドンにて、衣装担当。
<http://www.haction.co.jp/kodue/>
[@hibinokodue](https://www.instagram.com/hibinokodue)

藤村港平（ふじむらこうへい）

東京、横浜を拠点に舞踊家として活動。2020年以降「身体は如何にして」舞踊する身体」として再構築されるのか」という問いを出発点にリサーチや実験的なパフォーマンスを開始。また、この問いの延長として「ダンスと音楽の関係性」に着目することからダンスの発生を問うことを目的とした作品の制作を行う。2022年には、パフォーマンスアートにおける積極的意思や主体性を転覆することを試みた作品「対象a」を制作。その他に、音楽を聴く身体の前意味的な経験を扱った作品「PreDanceMusic」や器楽奏者とダンサーの身体知を呼吸という観点から考察する作品「2本のフルートと踊りのための断章」などが代表作として挙げられる。また、フリーのダンサーとして国内外問わず多くの演出家や振付家の作品に出演。筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。修士論文は「ダンサーの身体に現れる即興的性質に関する研究」。

小野龍一（おのりゅういち）

音楽家。東京芸術大学の作曲科を卒業後、同大学院美術研究科を修了。現代音楽のフィールドから、美術やパフォーマンスなど領域横断的な制作を行う。近年の展覧会・公演に「奥能登国際芸術祭2023」（2023, 珠洲市）、「TYM traveling your memory」（2023, オーバード・ホール、ひびのこづえと3人のダンサーとの共同制作）、「TURN 茶会」（2021, 国立新美術館）などがある。